

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 時代

作成日: 令和元年6月18日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	他グループホーム管理者の参加を得たり、2回に1回は合同で会議を行う等、充実した会議であるが、家族の参加がないので、家族が参加できるよう工夫していく。	運営推進会議に家族が参加しやすい日程調整を行い、家族の参加をお願いし、家族と地域、ホームが、利用者を地域の中で共に支えていく環境整備に取り組んでいく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	開設3年目を迎え、少しずつ地域との交流を広げているが、管理者だけでなく、利用者や職員も地域の行事や活動に積極的に参加していく。	運営推進会議に参加している民生委員から地域の情報を得て、地域の活動や行事に積極的に参加していく。また、介護や看護に精通しているホームを中心に、地域の課題や問題点の解決に取り組み、地域の中で、グループホームの存在感を高め、地域福祉の拠点を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。